



## 新しい「オカリナ」の世界を

オカリーナ 柿内美緒

事故による歯の手術がきっかけで、夢だったホルン奏者への道が遠のいていった頃、まさかオカリナ奏者になる日が来るとは、夢にも思っていませんでした。

音楽大学を卒業後は、楽器店に勤めながらホルン奏者を目指してレッスンを続けていましたが、歯の状態が悪化し手術を決意、その後長く治療を続けることになりました。徐々にコンディションが変化していく中で、気持ちを維持することが難しくなり…ホルンを諦めると決心できないまま、随分長い年月が経ちました。モヤモヤした日々の中で、今の師匠である大沢聡氏に出会えたことは、運命だったのかもしれない。それまでずっと、

ホルン以外の楽器に取り組み気はありませんでしたが、なぜかオカリナは少しやってみたいと思い、レッスンに通うようになりました。

師匠の導きで山梨に移住し、およそ4年半、現在はオカリナ奏者として国内外で様々な経験をさせていたでいます。多くのご縁のおかげで今の自分があることに感謝しながら、まだまだ一般的とはいえないオカリナの可能性を追究し、広めていくことが使命だと思っています。

今回のリサイタルでは、委嘱新作を含め、新たなオカリナの世界をお届けできるようなプログラムを予定しています。ぜひ多くの皆さまにお聴きいただけますと幸いです。

演奏会情報

♪ 柿内美緒オカリナリサイタル  
2019 東京公演  
2019年2月23日(土) 13:30 開演  
東京日暮里サニールホールコンサートサロン  
全席自由 2,500円  
柿内美緒(オカリナ)、海野綾子(ピアノ)、織茂学(作曲)  
■お問合せ：一般社団法人 東京国際芸術協会  
☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555  
http://tiaa-jp.com

## 看護師として 演奏者として

ピアノ 佐藤史子

音楽の世界を離れていた私が再びピアノを始めたのは、ちょうど3年前になります。

看護師、母親としての時間が私の日常の大半であり、音楽を嗜むような余裕のない日々を過ごしていましたが、そんな時たまたま或るオーディションの案内が目にとまりました。様々な葛藤がありましたが、年齢とともに再挑戦する機会は少なくなってきたおり、これが最後かもしれない、やらなければ一生後悔するかもしれないという気持ちに駆られました。こうして再出発した私は、限られた状況下で必死に続け、今に至ることができました。その力の源や演奏には、『ピアノが好き』『音楽が好き』という事も勿論です。

が、看護師として得てきた経験も影響していると思います。

元気に生きられるという事は決して当たり前なことではなく、尊い貴重な時間であるという事を多くの患者さんより学ばせていただきました。時間のありがたみを知って、音楽に対して短いながらも深く集中して向き合えるようになった気がします。人間の死生に直面して自分の生き方を見つめ直し、人間の深みを追求した演奏がしたいと思うようになりました。看護師として、演奏者として、それぞれの音楽家達が身を削って後世に遺した音楽の意味を、私なりの音で伝えられるリサイタルができたらと思います。



演奏会情報

♪ 佐藤史子ピアノリサイタル  
英国に育まれた感性 命の尊さを音に託して  
2019年2月23日(土) 17:30 開演  
東京日暮里サニールホールコンサートサロン  
全席自由 2,500円  
■お問合せ：一般社団法人 東京国際芸術協会  
☎03-6806-7108 FAX 03-3806-8555  
http://tiaa-jp.com